

令和元年 12 月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和元年 12 月 18 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 10 分

○場 所 三浦市役所第 2 分館 教育委員室

○次 第

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 署名委員の指名
玉 井 恵 理 委員、 越 智 康 一 委員
- 4 教育長報告
 - (1)小学校修学旅行について
 - (2)令和元年第 4 回三浦市議会定例会について
 - (3)年末・年始について
- 5 報告事項
 - (1)令和元年 11 月の後援名義等使用について
 - (2)令和元年第 4 回三浦市議会定例会の状況について
- 6 その他の事業について
 - (1)ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について
 - (2)第 66 回文化財防火デーについて
 - (3)三浦市社会教育講座 男の料理入門講座の開催について
 - (4)三浦市社会教育講座 「趣味の農業」22 期生募集について
 - (5)三浦市社会教育講座 やさしい俳句入門の開催について
- 7 その他
- 8 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	玉 井 恵 理
委 員	廣 瀬 牧 実
委 員	越 智 康 一
委 員	石 毛 浩 雄

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	君 島 篤	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	高 梨 真 一	学 校 給 食 課 長	武 田 健 二
文化スポーツ課長	塚 本 孝 治	南下浦市民センター館長	松 井 住 人
初声市民センター館長	蛭 田 一 成	青少年教育課長兼図書館長	平 松 恭 輔

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー 長 島 正 紀

○傍 聴（0名）

○及川教育長　こんにちは。ただいまより令和元年12月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに、前回会議録の承認を行います。前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正案等に関する皆さまのご意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

○及川教育長　なければお諮りいたします。

前回会議録について、別添「令和元年11月の三浦市教育委員会 定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長の一任とすることについてご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長　ありがとうございます。ご異議ないようですので、前回の会議録についてそのようにいたします。

○及川教育長　本日の定例会の会議録署名委員に「玉井職務代理」と「越智委員」を指名いたします。よろしくお願いいたします。

○及川教育長　それでは次に進みたいと思います。次第4「教育長報告」になります。

12月に入りまして半ばを過ぎたところですが、台風19号の影響で延期されていた、市内小学校6年生の日光修学旅行、昨日、今日と実施をいたしているところであります。昨日は少し雨模様ということで残念な天候ということですが、気温はそれほど低くなかったため雪はなかったと、そのような話も聞いております。今日は、晴れとまではいかないですが曇りの様子で予定通りと。もう向こうを出た頃ですかね。そんな時間だと思います。そういう様子で日光修学旅行については実施をさせて頂いております。

また、教育委員会関係につきましては、令和元年第4回三浦市議会定例会が先週の金曜日に終わりました。今回の議会につきましては、12月3日から12月13日の11日間の会議で行われました。議会の報告については、後ほど部長からお伝えさせていただきたいと思いますけれども、今回も、一般質問等で学校教育ビジョンについての質問を多くいただきました。それだけ関心のあることなのかなどの捉え方もできるわけですが、いずれにしても、子どもたちの未来のため、そして、未来の子どもたちのために、方向をきちんと見定めながら丁寧に進めていかなければいけないなということを、改めて感じさせられました。

また、今後ですが、2学期の終業式が12月24日(火)に予定されております。今回の冬休みについては1月7日までの14日間です。また、12月28日(土)～1月5日(日)まで9日間にな

りますが学校、教育委員会ともに閉庁となりなす。今年は土日の関係もありますが、例年より長い9日間となります。明日、校長会議もありますので学校の戸締り、休みの期間の緊急連絡体制についても確認をしながら、冬休みを無事に過ごせるように対応していきたいと思っております。

今お話ししたように年末という事でありませう。あと9日で仕事納めでありませうので、気忙しい時期ではありませうが、年内に済ませるべきことについては、しっかりと落ち着いて済ませて新しい年をと、思っているところでありませう。報告は以上です。

○及川教育長 質問等ございましたらお願いしませう。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○及川教育長 なければ次に進みます。それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思ひませう。
(1)令和元年11月の後援名義等使用について、報告をお願いいたしませう。

○増井教育総務課長 令和元年11月の後援名義等使用についてご報告申し上げます。
議案資料1ページ、資料1をご覧ください。令和元年11月に資料記載の学校教育課関係1件、文化スポーツ課関係11件の申請がございまして使用承認をいたしてあります。
後援事業につきましてご不明な点がございましたら担当課よりご説明いたしませう。以上でございまして。

○及川教育長 報告は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたしませう。

○及川教育長 いかがでしょうか。なければ次に進みます。
次に(2)令和元年第4回三浦市議会定例会の状況について、報告をお願いしませう。

○君島教育部長 令和元年第4回三浦市議会定例会の状況について、説明させていただきます。
11月27日告示され、12月13日までの日程で開催されました。議案資料3ページ、資料2をご覧ください。市から議案15件、報告6件及び、本日資料を追加させていただいたところですが、最終日、追加手配いたしました議案1件について、そのすべてが可決、または承認されました。

関連議案の審議内容について、ご報告いたしませう。議案第74号令和元年度三浦市一般会計補正予算(第3号)につきましては、11月の定例会でご審議頂いたものでございまして。総務経済常任委員会に付託され12月6日(金)に審議され可決されました。図書館費にかかる補正について質疑がございまして。現在の図書館システムの継続使用の目途がたったことから、今後の使用期間に合わせて債務負担行為の期間及び、限度額を補正するとともに、令和元年度の歳出予算を減額するものである旨、お答えいたしませう。続いて一般質問ですが、12月3日～5日までの3日間で行われ、12名の議員から質問がございまして。そのうち教育委員会が答弁いたしました8名の質問内容について、簡単にご報告させていただきます。詳細は資料をご参考いただきたく存じませう。学校教育ビジョンにつきましては、先ほど教育長報告でありましたとおり、本会議2日目、5人目の質問者、日本共産党の小林直樹議員。本会議3日目には、公明・みうらクラブの鈴木敏史議員、自由民主党の神田眞弓議員、3名の議員から質問がございまして。

また1日目、共産党の石橋むつみ議員からは、南下浦市民センターと子育て賃貸住宅に関連して公民館条例等の改正について及び、ベルマーク運動についての質問がございました。明日の三浦の石渡道臣議員からは初声小学校の水道設備についてございました。2日目、明日の三浦の蓮本一朗議員からは子どものいじめ対策について質問がございました。3日目、公明・みうらクラブの藤田昇議員からは、学校教育におけるSDGsについて。自由民主党の出口眞琴議員からはスポーツ合宿及び、スポーツ施設について質問がございました。以上簡単ではございますが、令和元年第4回三浦市議会定例会に関する報告とさせていただきます。

○及川教育長 報告は終わりました。ご質問等ありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○石毛委員 一般質問の中で複数の議員の方が施設一体型と分離型の件についての質問がされてました。この中で懸念されているのはということで、質問内容ですが、こちらの答弁の中でも一体型というのは、今の三浦市では非常に厳しいと書いてあります。その中で分離型ということで、今後少し予想されるような問題とか、一体型とは違った解決しなければならない問題とかあれば教えていただければと思います。

○君島教育部長 一般質問の答弁でもお答えしておるところですけれども、施設一体型の方が、分離型よりも小中一貫教育は有効に機能するだろうというふうに考えてございます。一方で、分離型だからといって一貫教育ができないというわけではございません。長い将来的に一体型を否定するわけではございませんが、現在ある施設で、一日も早くと申しますか、小中一貫教育を今よりもさらに強力に進めていくという考え方で進めていくということであって、大きな問題点、小中一貫教育を行うに際しての問題点はないだろうというふうに考えてございます。

○及川教育長 私の方から、藤田議員のSDGsのところですね、グローバル教育推進事業に取り組んでいきますと答弁しております。これはこれまで国際理解ということで国際理解推進事業、実際にウォーナンプールに派遣する事業ですとか、あと三浦市の英語教育充実などを主に進めてきたわけですが、やはり世界的な規模での、世界に向けて理解をしたり交流をしたりということはもちろん必要ですが、それに加えて世界的な規模での問題ということが大きく取り上げられてきている時代なので、そういう世界に向けたことを子どもたちにも教育していくとグローバルな視点での取り組みを今まで以上に広く取り組めるようにということで、グローバル教育推進事業を新しくしてやっという答えをしています。このことについては、これまでの国際理解推進事業をグレードアップしていくということと捉えていただければありがたいと思いますので、付け加えさせていただきます。

○及川教育長 その他ございますか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。

それでは、次第6「その他の事業について」に入りたいと思います。

- (1)ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について、及び
- (2)第66回文化財防火デーについて、以上は文化スポーツ課のですので一括で説明をお願いします。

○塚本文化スポーツ課長 議案資料 22 ページ、資料 3 をご覧ください。

ユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形文化財「チャッキラコ」奉納について、ご報告させていただきます。

チャッキラコは昭和 51 年 5 月に国指定重要無形民俗文化財に指定され、平成 21 年 9 月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。毎年 1 月 15 日に固定され実施されております。来年につきましても例年通り 1 月 15 日に実施される予定でございます。時間は資料のとおり 10 時から本宮に奉納された後、10 時 30 分に海南神社に奉納されます。その後、チャッキラコ三崎昭和館で踊り、午後 1 時 35 分頃より仲崎竜神様・花暮竜宮様、その後、下町の各家々や店舗を回る予定でおります。主催はチャッキラコ保存会となります。教育委員会としては椅子などの機材の準備や当日の会場警備などで協力しております。

続きまして、第 66 回文化財防火デー・第 27 回消防訓練について、議案資料 23 ページ、資料 4 をご覧ください。

第 66 回文化財防火デーについて、まず報告いたします。毎年 1 月 26 日は「文化財防火デー」と設定されております。これは昭和 24 年に奈良、法隆寺の金堂の火災をうけたということで、全国で統一されております。文化財防火デーは、文化財を火災、震災などの災害から守ること、文化財愛護の意識を高めることを主な目的としております。そこで三浦市でも文化財保護への関心を高めることと、地域ぐるみの防火・防災意識を高めるために、消防と教育委員会が合同で消防訓練を実施しております。今年度は第 27 回目の消防訓練となり、1 月 22 日(水)10 時から三崎の圓照寺で実施いたします。訓練の想定は消火訓練とともに関係者による文化財の搬出など総合的な防災訓練を行う予定です。圓照寺には平成 18 年三浦市指定文化財で北条氏の進状、古文書がございます。なお、横須賀市消防局と事業を進めておりますが、実際の訓練は三浦消防署が担当となります。報告は以上です。

○及川教育長 ありがとうございます。説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。圓照寺は前の徳風幼稚園です。

チャッキラコ、文化財防火デーそれぞれご質問がございましたらお願いします。

チャッキラコについては、今のところ予定ですが県議会議員も数名来るという話も聞いています。

○及川教育長 よろしいですか。なければ次に進みます。次に、(3)三浦市社会教育講座 男の料理入門講座の開催について、及び(4)「趣味の農業」22 期生の募集について、以上は南下浦市民センターの事業ですので一括で説明をお願いします。

○松井南下浦市民センター館長 南下浦市民センターから 2 つの社会教育講座について、ご説明申し上げます。

資料 5、24 ページをご覧ください。「超簡単につくれちゃう 男の料理入門講座」を 2 月 16 日(日)10 時～11 時 30 分まで南下浦市民センターで開催いたします。講師は三浦海岸舵木(かじき)のマスターであります北川淳さんであります。この講座は新規の講座でして、南下浦市民センター利用者の声を形にしたもので、今回は初心者向けとなっております。定員は 12 名、材料費は 300 円となっております。料理に興味のある方は是非、ご応募頂きたいと思っております。

次に隣のページ。資料6、25ページとなります。三浦の産業の一つである農業について、シニア世代の人たちを対象に、三浦の特色を農業を通じて理解していただく、また、三浦の土地で野菜を作りながら、「仲間づくり、生きがいくくり、健康づくり」をすることを目的に「趣味の農業」を開催するものであり、平成10年から開催している歴史のある講座であります。令和2年度と令和3年度を活動する22期生の15名を募集するため、2月19日、9時～11時30分まで南下浦市民センターと和田の実習地で説明会を開きます。以上で説明を終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。ご質問等ありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○玉井教育長職務代理 「男の料理入門」ですが、初心者にしてはチョリソーを作ったりとか、サバの燻製を作ったりとか高度な感じで、女性も興味があると思いますので、ぜひ、女性を対象にしたものも進めて頂きたいと思います。

○松井南下浦市民センター館長 今後、検討させていただきます。

○及川教育長 女性も入れる教室というのはありますか。

○松井南下浦市民センター 行っておりまして、今年でいうと2月に吉田和子先生の三浦大根の料理講座、大根のフルコースをといたものを開催させておりますので、今回は男の人で初級からやってみたいという声もありましたので新規に立ち上げさせていただきました。

○及川教育長 そのほかございますか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。
次に、(5)三浦市社会教育講座 やさしい俳句入門の開催について、説明をお願いします。

○蛭田初声市民センター館長 初声市民センターより やさしい俳句入門についてご説明いたします。

26ページ、資料7をご覧ください。最近ではテレビでも放映され人気が出ております俳句の講座を開催いたします。開催日時は1月21日(火)13時～15時となります。講師は初声市民センターで活動しております。とうがらし俳句会の講師で俳人協会会員の秦孝浩さんです。定員は10名で受講料は500円です。申し込み受付は1月7日(火)からで定員になり次第締め切ります。以上で説明は終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。ご質問等ありましたらお願いします。最近、テレビ番組もあって俳句は結構人気なんじゃないですか。10名はすぐにいっぱいになってしまうんじゃないですか。そんな予想もされますけれど、どうでしょう。

○蛭田初声市民センター館長 人数は検討したいと思います。申し込みがあれば許容の範囲で、講師の先生と相談しまして多少の増減はしたいと思います。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。

次第7「その他」に入りたいと思います。事務局から何かありますか。

○塚本文化スポーツ課長　それでは、本日配布のA4、1枚裏表の写真がついている資料になります。こちらにつきましては国登録有形文化財(建造物)についての報告となります。

初声町三戸でございます、写真の旧長谷川家、こちらの住宅、母屋それから石蔵、庭門及び内堀という3つの切り分けで、三浦市としては初めての国登録有形文化財、有形としては初めての建造物、令和元年12月5日に登録されました。現在は、撮影スタジオの利用ですとか、イベント、パーティー会場として貸し出しを行う施設となっております。名称としては「CASA三戸浜」として活用されております。簡単ですが以上となります。

もう1件ございまして、昨日、オリンピックの追加リレー、ルートとランナーについて、神奈川県から報道発表がございました。三浦市民としては1名だけ神奈川県実行委員会、組織委員会のほうで選定されたランナーが、中学1年生ですね。ギャンビル・ウイリアム・カイト君という男の子が一人選ばれています。報告させていただきます。

○及川教育長　今の2点についてご質問等ありましたらお願いします。

○石毛委員　CASA三戸浜というのは民間か何かの所有の施設ですか。

○塚本文化スポーツ課長　そうです。民間でこちらをイベント会場として貸し出し、有料施設として運営されています。今年の夏の利用状況とかですと、やはり土日は予約が一杯入っているようなそんな状況です。

○及川教育長　イベント会場ですとか、宿泊もできる。

○君島教育部長　CASA三戸浜につきましては、運営会社が長谷川様から所有権を買い取りまして、お宅全体を貸し出すような形で、利用の形態については柔軟な対応をされておりますので、当然そこに宿泊することもできるというような形態をとっております。営業行為を行いながらも国の指定を今回うけたということになります。

○及川教育長　その他いかがでしょうか。見学はできますか。

○塚本文化スポーツ課長　国指定をうけたということで、現在、一般の見学ができないかという事はCASAの方が検討しているところですが、見学日とか、時間を区切ってとかそういう運用について検討しているということだそうです。

○及川教育長　教育委員さんの皆さんと収蔵庫を見ていただくということを以前お話もさせていただきましたけれども、時間が合えばここも見学しながら、収蔵庫も見ながら、そのあと定例会もやりながら、ということで組ませていただいてもいいかなと思っていますけれど。そこは確認をしながら調整できればということをお願いしたいと思います。

その他いかがでしょうか。聖火ランナーについては三浦市は6月30日ですね。

○塚本文化スポーツ課長 神奈川県全体は6月29・30、7月1日の3日間で神奈川県内を走る予定です。三浦市については6月30日、2日目のスタート地点うらりを出発して、そこでは出発式の式典をやった後、ちょうど三崎港から商工会議所を通過して花暮を通過して北条湾というコースで聖火を繋いでいくという予定であります。

○玉井教育長職務代理 それは事前に告知していただいて、見学は自由、沿道で応援できるわけですね。

○塚本文化スポーツ課長 一般の沿道の応援は申請とか許可とか不要で、一般の沿道応援は可能でございます。

○及川教育長 せっかくですので賑やかにというか、皆さん多く出ていただいて応援していただくといいかなと思います。その他いかがでしょうか。よろしいですか。それでは続きまして、教育委員の皆さんから何かございましたらお願いします。いかがでしょうか。

○石毛委員 昨今のニュースでOECD加盟国の学習到達調査結果の中で、読解力等々の結果が著しく落ち込んでいたということ、また、記述試験等々では記述式が今回撤回されたということもありますけれども、その点を踏まえて、今現状、三浦市の子どもたちもそうですが、日本の現状、読解力がなぜこれほど低下しているのか、もしくは何か問題があるのか。試験問題等々に問題があるのか分かりませんが、その辺の考察等々教えていただければと思います。

○高梨学校教育課長 石毛委員がおっしゃる通り、2018年の6月～8月にかけてPISA（学習到達度調査）が行われまして、その結果が今月の頭に公表になりました。この調査はそもそも15歳、高校1年生ということで全日制、定時制、あと中等教育の後期課程、高等専門学校の1年生が受ける調査となっておりますが、結果は出たとおり、数学的リテラシーについては37か国といわれますけれども第1位。科学的リテラシーについては第2位ということでトップクラスを維持しております。

ただ読解力に関しましては、今回OECDの平均より高いグループに位置していますが、11位ということで、前回は6位でしたので少し下がったという形になっております。ただ長期的な目で見てみると、このことについては優位な変化はないと言われております。

ただ、結果の概要を確認させていただいたところ、読解力の問題で日本の生徒の正答率が比較的良かった問題には、テキストから情報を探し出す、有益な情報を探し出す問題であるとか、またテキストそのものの質とか信ぴょう性を評価する問題、あと書かせる方の読解力としては、自分の考えを相手に伝わるように、根拠を示して説明するような問題について低い結果が出ております。ここについては、新学習指導要領でも示されております持続可能な社会の担い手となる子どもたちの育成に必要な資質・能力となり、未知の問題に対して、友達、周りの人たちと互いに協力しながら意見を出し合って解決していくという力を育むためには一番必要な部分であったりするところがございます。一方で、日本の生徒は読書が好きだとか、大好きな趣味のうちの一つであると答えている割合が、実はOECDの平均より高いというのがありまして、

実はそういう子たちはクロス集計というのですが、アンケートと合わせてみると正答率が上がっているという子たちになります。三浦市に置き換えてみますと、今年、全国学力学習調査をやりまして、市のホームページで公表させていただいております。この結果をみますと、まず小学校につきましては、読解力に関しては概ね理解している傾向がみられたのですが、自分の考えを記述するなど、思考力、表現力の部分には課題がみられたという結果になっております。具体的には目的に応じて自分の考えをより明確にして、まとめて書くという部分の問題の通過率が低かったという形になります。また、アンケート調査と一緒にやりますが、その時に休日とか学校ではないときに図書館に本を借りに行きますかとか、新聞を読みますかという部分が全国に比べて若干低いと分かります。やはりこのクロス集計とアンケートとをみると、新聞を読んでいる子、読書をしている子は成績が上がっています。一方、中学校ですが同じようにみていきますと、中学校では読解力については概ね理解が図られているということで、全国平均並みの結果となっております。ただ、読書の部分、新聞の部分については小学校と同じ結果です。こちらについては、今回、長期でみると平均、平らという形になってはいますが、問題がコンピューターを導入されたこともあって今までの問題ですと、例えば、全体を見てから答えていく、スクロールしながらやっていかななくてはいけないとか、全部入れた後に、回答を修正できないとかいう部分もあるようです。ただし、それだけではないと思いますので、今回の結果を分析し、各学校においてその部分をどう繋げていくか、具体的には主体的、対話的で深い学びに繋がる授業を各教科においてできるように、教育委員会としても情報を提供しますし、指導もしていきたいと考えております。

○石毛委員 明確な答えがない場合の証言というか、作成能力というのがまだまだ弱いということですかね。

○及川教育長 やはり、日頃の授業の中で自分が発言するときに、根拠を明確にすることですかね。そういうことを繰り返していく。あと情報について、情報リテラシーというか、色々な情報が飛び交っている中で、すぐに飛びつくのではなくて信ぴょう性というか、そういうことを自分で確認しながら、その情報を活用する力が必要なかなと思うんですね。それは一人ではできなくて、授業などで他の子の意見も聞きながら、自分の意見、考えというのを深めていく、練り上げていく、そういうことの繰り返しなのかなと思います。言葉でいうのは簡単ですけど実際にやっていくのは難しい部分もありますが、そういうところを学校教育ビジョンは狙っている、目指しているということなので、我々が今進めようとしていることというのは、間違っていないのかなというのは改めて感じた結果なのではないかなというふうにも思っているところです。

○石毛委員 勉強させていただきたいので、後日まとめたものをみさせていただいてもよろしいでしょうか。

○高梨学校教育課長 はい、分かりました。

○及川教育長 よろしく申し上げます。そのほか委員さんからございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。それではないうであればこれをもちまして、令和元年12月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

◇ 午後2時10分 閉会 ◇
